



会社名 株式会社TOKAIホールディングス
代表者名 代表取締役社長 小栗 勝男
(コード番号 3167 東証プライム市場)
問合せ先 常務執行役員 IR室担当 谷口 芳浩
(TEL. 03-5404-2891)

2023年3月期 第2四半期決算について ～2期連続の増収、売上高が過去最高更新～

当社は、本日、2023年3月期 第2四半期決算を発表しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 年間10万件的顧客件数純増に向けて収益基盤拡充を進捗

当社は、昨年5月に2024年度を最終年度とする中期経営計画(※)を公表しました。

その重点戦略のひとつである事業エリア拡大の推進として、既存エリアにおけるシェア拡大、国内新規営業エリアの拡大、海外への事業展開などに取り組み、収益性を重視した「選択と集中」の観点から顧客件数を積み上げています。

2024年度末の顧客件数356万件に向けて、今期末330万件(年間10万件的の純増)を目標に、積極的な収益基盤拡充戦略に取り組んでいます。

当第2四半期の営業活動について、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しつつ、積極的な顧客獲得活動に取り組んだことにより、当第2四半期末における**継続取引顧客件数は3,242千件と、期首の3,194千件に対し48,618件増加(前年同期は26,127件の増加)**しました。

ガス(LP・都市ガス)顧客が19,094件(前年同期は19,920件)の純増、CATV顧客が15,910件(同16,613件)の純増、光コラボが11,849件(同1,985件)の純増、LIBMO(格安SIMサービス)が6,852件(同1,034件)の純増と、収益基盤のさらなる拡充を進捗させました。

2. 2期連続の増収、第2四半期累計期間で初の売上高1千億円超え

当第2四半期の経営成績について、エネルギー、CATV等の顧客件数増加等による増収、エネルギーの仕入価格に連動した販売価格の上昇や、情報通信事業の法人向けストックビジネス拡大等により、**売上高は1,041億円(前年同期比+80億円・8.4%増)と、第2四半期累計期間で初めて1千億円の大台に到達、2期連続の増収で過去最高を更新**しました。

利益面については、顧客件数増加に伴う月次課金件数の増加等による増益及び法人向け情報通信事業の増益等を計上した一方、前年同期の水準を大きく上回るLPガス仕入価格の影響や、顧客純増への転換に努めた消費者向け情報通信事業における顧客獲得費用の増加等により、営業利益は43億円(同△10億円・18.6%減)となりました。

また、持分法適用関連会社(ベトナム)に係るのれんの減損損失や、投資有価証券評価損を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は1.5億円(同△21.3億円・93.5%減)となりました。

(単位：百万円)

	当期実績 (2022.4.1~2022.9.30)	前年同期実績 (2021.4.1~2021.9.30)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	104,110	96,060	+8,049	+8.4%
営業利益	4,253	5,223	△969	△18.6%
経常利益	2,432	5,284	△2,851	△54.0%
四半期純利益	147	2,281	△2,134	△93.5%
1株当たり四半期純利益	1.13円	17.42円	△16.29円	△93.5%

3. 中期経営計画の達成に向けて

当社グループは、企業理念である「お客様の暮らしのために、地域とともに、地球とともに、成長・発展し続けます」を変わらない価値として、お客様のライフスタイルの変化、社会環境の変化に対応し、お客様の暮らしを支え、寄り添いながら、これからの新しいライフスタイルをデザイン・提供するグループへの進化を目指し、中期経営計画に取り組んでいます。

中期経営計画の2期目となる2023年3月期も、事業エリアの拡大の推進、デジタルマーケティングの推進、オープンイノベーションの創出、DX戦略の本格化、経営資源の最適配分、SDGsに向けた取り組み強化に、引き続きグループ一丸となって取り組んでいます。

2023年3月期の連結業績予想並びに配当予想につきましては、現時点において、2022年5月10日に公表いたしました数値から変更ありません。

(単位：百万円)

	通期業績予想 (2022.4.1~2023.3.31)	前期実績 (2021.4.1~2022.3.31)	前期比	
			増減額	増減率
売上高	223,000	210,691	+12,309	+5.8%
営業利益	14,500	15,794	△1,294	△8.2%
経常利益	14,300	15,907	△1,607	△10.1%
当期純利益	8,300	8,969	△669	△7.5%
1株当たり当期純利益	63.43円	68.49円	△5.06円	△7.5%
期末顧客件数	3,295千件	3,194千件	+101千件	+3.2%

	2023年3月期 (予想)	2023年3月期	2022年3月期
第2四半期末		16.00円	15.00円
期末	16.00円		17.00円
年間配当金合計	32.00円		32.00円

詳細につきましては、別添の「2023年3月期第2四半期決算について」をご参照ください。

また、2023年3月期第2四半期決算短信は、以下のURLをご参照ください。

<https://www.tokaiholdings.co.jp/ir/library/earnings.html>

※ 中期経営計画の詳細は、以下のURLをご参照ください。

<https://www.tokaiholdings.co.jp/ir/management/manageplan.html>

以上

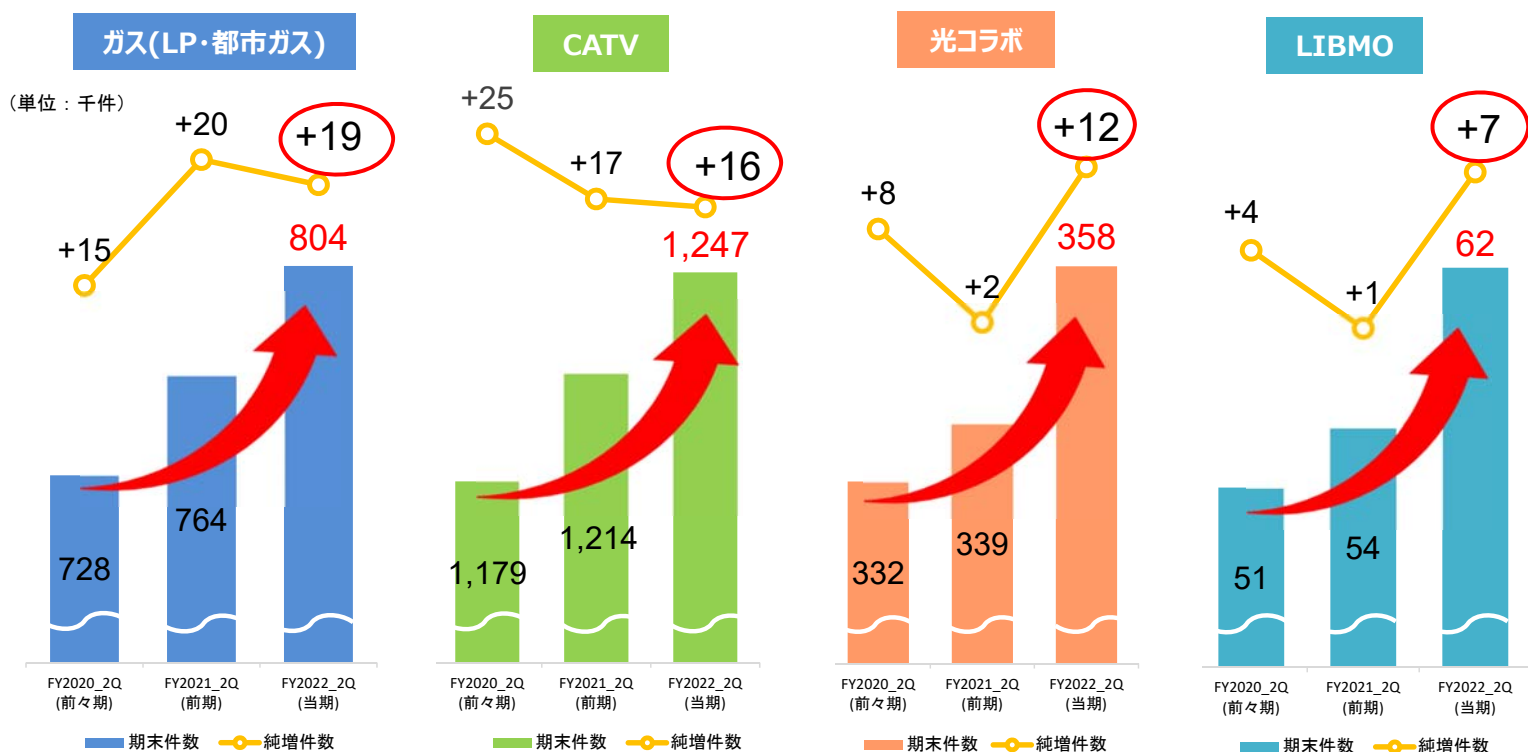
第2四半期決算について

株式会社TOKAIホールディングス
(証券コード:3167)

2022年12月14日

収益基盤の拡充が進捗

- ◎ 当2Q期末の継続取引顧客件数は3,242千件と、期首の3,194千件から49千件増加
- ◎ ガス事業、CATV事業、光コラボ、LIBMOが収益基盤のさらなる拡充を進捗

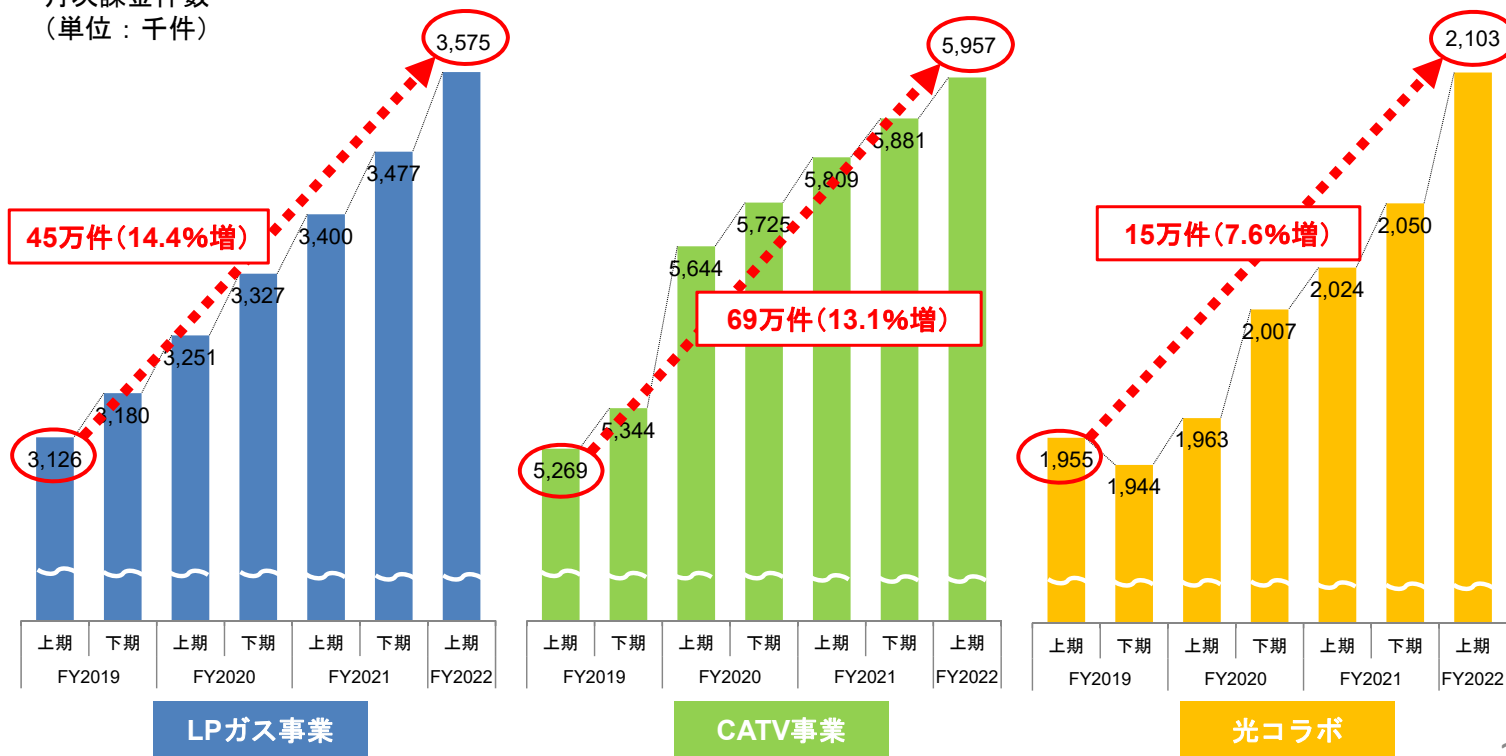


※千件未満四捨五入

主力事業の月次課金件数が大幅に増加

◎ 収益基盤である顧客件数を拡大していくことにより、月次課金件数増加による収益増につながっていく

月次課金件数
(単位：千件)



2期連続の増収で過去最高を更新

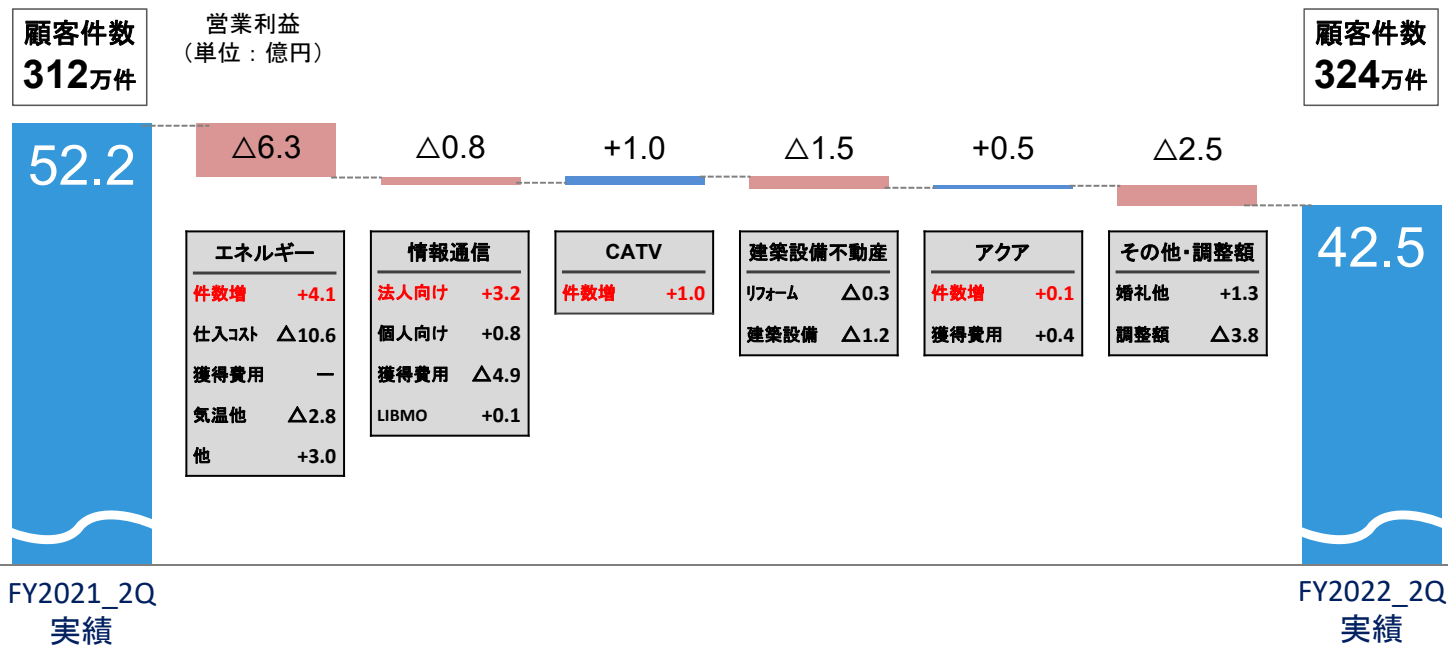
- ◎ 売上高は、顧客件数増加やエネルギーの仕入価格に連動した販売価格の上昇、法人向け情報通信事業の拡大等により2期連続の増収で過去最高を更新、2Q累計で初の1千億円超え
- ◎ 営業利益は、顧客件数増加に伴う月次課金件数増加等による増益や法人向け情報通信事業の増益があったものの、LPガス仕入価格高騰による影響や顧客獲得費用の増加等により、前年同期比10億円の減益
- ◎ 持分法適用関連会社に係るのれんの減損損失や、投資有価証券評価損等を計上したことにより四半期純利益が前年同期比21億円の減益

(売上高・利益：百万円、1株当たり利益：円)

	当期実績 (2022.4.1~2022.9.30)	前年同期実績 (2021.4.1~2021.9.30)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	104,110	96,060	+8,049	+8.4%
営業利益	4,253	5,223	△969	△18.6%
経常利益	2,432	5,284	△2,851	△54.0%
四半期純利益	147	2,281	△2,134	△93.5%
1株当たり純利益	1.13円	17.42円	△16.29円	△93.5%

2Q営業利益 セグメント別前年同期比較

- ◎ エネルギー、CATV、アクアが顧客件数増加による増益を計上、法人向け情報通信も好調
- ◎ エネルギー減益の主要因はガス仕入コスト高騰の影響（前年同期比18億円のコスト増）
- ◎ 個人向け情報通信は顧客獲得数が前年同期を大きく上回る一方、獲得費用が増加



※営業利益の増減数値は間接費用配賦前ベース

株主価値向上に向け経営資源の最適配分を図る

- ◎ 自己資本比率がさらに0.2ポイント向上
- ◎ フリーキャッシュフローは前年同期に比べ減少したものの、有利子負債/EBITDA倍率は1.5倍と、前期末の水準を維持

自己資本比率	41.9 %	➡	42.1 %
	2022年3月末		2022年9月末
有利子負債残高	441 億円	➡	471 億円
	2022年3月末		2022年9月末
営業キャッシュフロー	114 億円	➡	80 億円
	2021年9月期		2022年9月期
投資キャッシュフロー	△90 億円	➡	△69 億円
	2021年9月期		2022年9月期
フリーキャッシュフロー	24 億円	➡	11 億円
	2021年9月期		2022年9月期
有利子負債/EBITDA倍率	1.4 倍	➡	1.5 倍
	2022年3月期		2022年9月期

※2022年9月期の有利子負債/EBITDA倍率は年間見直しEBITDAによる

通期の連結業績予想

- 売上高は、顧客件数の増加や法人向け情報通信事業及び建築設備不動産事業の受注案件増加等により、前期比123億円(+5.8%)の増収で5期連続の過去最高更新を計画
- 営業利益は、LPガス仕入価格高騰による影響(51億円)を織り込んだことで前期比13億円の減益
- 価格競争力を維持した料金施策等により、LPガス事業が引続き積極的な顧客獲得を推進
- グループ全体の顧客件数は、前期末の319万件から10万件超増加させ330万件を計画

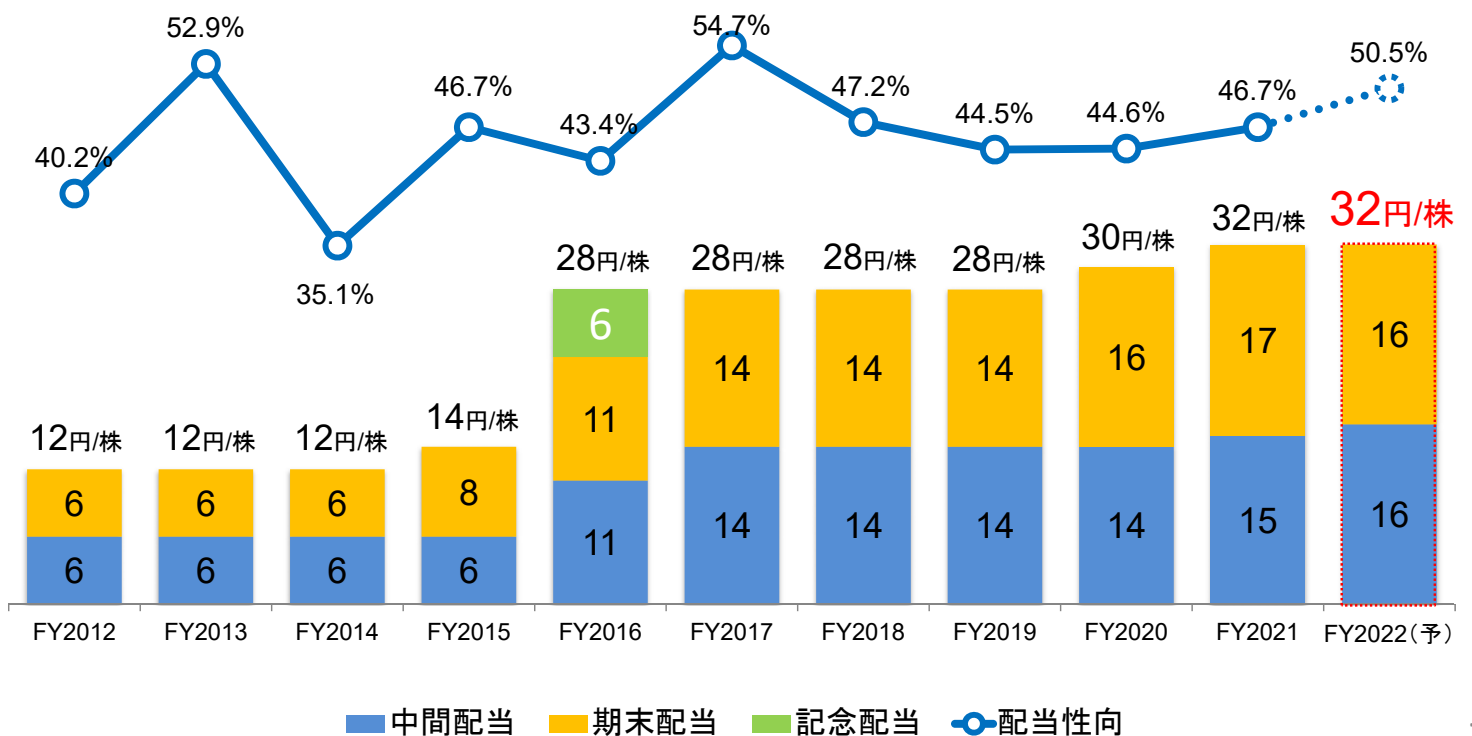
(単位：億円)

	当期予想 (FY2022)	前期実績 (FY2021)	前期比		中期経営 計画 (FY2022)	中期経営計画比	
			増減額	増減率 (%)		増減額	増減率 (%)
売上高	2,230	2,107	+123	+5.8	2,210	+20	+0.9
営業利益	145	158	△13	△8.2	156	△11	△7.1
経常利益	143	159	△16	△10.1	—	—	—
当期純利益	83	90	△7	△7.5	90	△7	△7.8
期末顧客件数	330万件	319万件	+10万件	+3.2	332万件	△2万件	△0.6

6

配当予想

- ◎ 1株当たり年間配当金は、前期の32円/株を維持する計画
- ◎ 配当予想(2022年5月10日公表)に変更なし



7

Appendix

- (1)連結業績
- (2)セグメント別売上高
- (3)セグメント別営業利益
- (4)連結財務指標
- (5)連結キャッシュフロー
- (6)グループ顧客件数
- (7)事業別EBITDA

(1) 連結業績

(単位:百万円)

	2018年 2Q実績	2019年 2Q実績	2020年 2Q実績	2021年 2Q実績	2022年 2Q実績
売上高	88,840	93,015	89,836	96,060	104,110
営業利益	3,475	5,500	5,452	5,223	4,253
経常利益	3,580	5,608	5,499	5,284	2,432
四半期純利益	1,736	3,492	3,279	2,281	147
1株当たり純利益	13.26円	26.67円	25.04円	17.42円	1.13円

(2) セグメント別売上高

(単位:百万円)

	2018年 2Q実績	2019年 2Q実績	2020年 2Q実績	2021年 2Q実績	2022年 2Q実績
エネルギー	33,948	35,766	33,430	36,153	44,053
情報通信	25,154	25,911	25,131	25,302	26,078
CATV	15,135	15,593	16,490	16,081	16,574
建築設備不動産	8,987	9,736	9,074	12,361	11,486
アクア	3,490	3,752	3,880	3,913	3,838
その他	2,123	2,255	1,828	2,248	2,077
合計	88,840	93,015	89,836	96,060	104,110

10

(3) セグメント別営業利益

(単位:百万円)

	2018年 2Q実績	2019年 2Q実績	2020年 2Q実績	2021年 2Q実績	2022年 2Q実績
エネルギー	1,084	1,966	2,382	1,963	1,330
情報通信	1,608	2,269	2,036	2,405	2,320
CATV	2,330	2,539	2,633	2,957	3,052
建築設備不動産	554	843	621	738	589
アクア	291	400	446	186	234
その他・調整額	△2,393	△2,519	△2,667	△3,027	△3,274
合計	3,475	5,500	5,452	5,223	4,253

※数値は間接費用等配賦前ベース

11

(4) 連結財務指標

(単位:百万円)

	2018年 2Q実績	2019年 2Q実績	2020年 2Q実績	2021年 2Q実績	2022年 2Q実績
資産合計	164,920	165,616	167,687	177,855	180,807
負債合計	102,493	100,633	98,288	100,713	102,948
純資産合計	62,426	64,982	69,398	77,142	77,859
有利子負債残高	54,930	50,927	48,259	45,212	47,109
E B I T D A	10,892	13,116	13,350	13,193	12,241
自己資本比率	37.1 %	38.4 %	40.5 %	42.5 %	42.1 %

12

(5) 連結キャッシュフロー

(単位:百万円)

	2018年 2Q実績	2019年 2Q実績	2020年 2Q実績	2021年 2Q実績	2022年 2Q実績
営業活動による キャッシュフロー	7,193	10,706	14,805	11,382	7,956
投資活動による キャッシュフロー	△6,964	△6,859	△10,696	△8,997	△6,861
フリー キャッシュフロー	229	3,846	4,109	2,384	1,095
財務活動による キャッシュフロー	58	△3,659	△4,048	△1,680	△1,709

13

(6) グループ顧客件数

(単位:千件)

		2018年 2Q実績	2019年 2Q実績	2020年 2Q実績	2021年 2Q実績	2022年 2Q実績
ガス(LP・都市ガス)		670	696	728	764	804
情報通信	従来型ISP等	440	403	379	386	414
	光コラボ	328	324	332	339	358
	LIBMO	36	43	51	54	62
	小計	804	770	762	779	834
CATV		1,046	1,076	1,179	1,214	1,247
アクア		156	159	161	165	167
モバイル		223	215	209	198	185
セキュリティ		17	16	16	16	16
合計		2,893	2,918	3,042	3,125	3,242

※千件未満四捨五入。情報通信とCATVで通信サービスが重複、合計値からは除外。

※情報通信(従来型ISP等)には、2021年2QよりISP付加サービス(PC訪問サポートサービス)契約を含め、2022年2Qより同(PC遠隔サポートサービス)契約を含めている。

14

(7) 事業別EBITDA

(単位:百万円)

		2018年 2Q実績	2019年 2Q実績	2020年 2Q実績	2021年 2Q実績	2022年 2Q実績
エネルギー		3,430	4,357	4,701	4,350	3,806
情報通信	個人向け	3,023	3,858	662	867	396
	法人向け			3,114	3,279	3,536
CATV		5,231	5,372	5,627	5,805	5,948
建築設備不動産		921	1,218	1,026	1,249	1,104
アクア		552	697	758	532	570
EBITDA(全体)		10,892	13,116	13,350	13,193	12,241

※EBITDA=営業利益+減価償却費(営業利益は間接費用等配賦前、減価償却費はセグメント間取引消去前)

※情報通信については、2020年2Qより個人向けと法人向けに区分しております。それ以前は情報通信全体の数値を表示しております。

15

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

金額は百万円未満切り捨て、それ以外を四捨五入で表示しております。

本資料に関するお問い合わせは下記までお願い致します。

株式会社TOKAIホールディングス IR室

〒105-0022 東京都港区海岸1-9-1 浜離宮インターシティ11F

TEL: (03)5404-2891

FAX: (03)5404-2786

<https://www.tokaiholdings.co.jp>

e-mail: hd-info@tokaigroup.co.jp

うれしいをつなぐ。ひろげる。

